

○計画期間:令和4年4月～令和9年3月(5年0月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和5年度終了時点(令和6年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、令和4年3月の認定基本計画に基づき、「人が輝き、人で輝く、人が主体の賑わいづくり～まちなかりスタート！南北一体化による交流シンカを目指して～」のスローガンのもと、「多様な目的で人が行き交い、交流するまち」、「新たなチャレンジとライフスタイルを楽しむまち」を目指して、交流人口の拡大、まちなか居住と生活サービス・事業創出機能の充実に努めてきた。

高岡駅前東地区においては、令和2年に民間資本によるホテルの開業、同11月には隣接する分譲マンションの入居も始まり、新たな人の流れが生み出されたところである。令和5年11月には同地区において新たに88戸の分譲マンションが完工し、入居が進んだこと、更には域外への転出数が例年より少なかったことなどから、統計開始(H28)以降初めての社会増となり、中心市街地への居住ニーズが高まっていることが伺える。

また、市北部地域にある勝興寺が令和4年12月に国宝に指定され、アフターコロナの中での観光需要の回復も相まって観光客は増加傾向にある。令和6年能登半島地震の影響が懸念されるが、北陸新幹線敦賀延伸や北陸応援割の実施、令和6年秋に北陸三県で実施される大型観光キャンペーン「北陸デスティネーションキャンペーン」の開催も控えており、観光需要のさらなる増加が期待される。

市内有数の観光地である山町筋においては、ビル内の空き店舗活用が進んでいる。ビル階の空き店舗をカフェとギャラリーに改装した店舗が令和5年7月にオープン。また、クラウドファンディングを活用し、ビル内の空き店舗をファンタジーとアートをテーマにしたカフェに改装する計画もあり、空き店舗が新たな観光・交流拠点として生まれ変わり、観光客数、歩行者通行量の増加に寄与する流れが生み出されている。

一方、中心商店街においては、令和4年10月より御旅屋通りで開催している「御旅屋人マーケット」を毎月第3日曜日(冬季除く)に定期開催し、令和5年度は延べ19,700人の来場者があった。さらに令和5年3月に御旅屋セリオ内に開設した、高岡まちなかスタートアップ支援施設「TASU(タス)」では、相談・セミナーを含め約4,000人の利用があり、相談者の中からまちなかでの新規開業も生まれた。

これらの要因も相まって、直近の中心市街地の調査地点における公示地価についても下げ幅が縮小に転じており、明るい兆しが見える。

引き続き各種事業を相乗的に連携・展開することで、中心商店街の商業機能の活性化が期待されているところである。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) **居住人口**

(基準日：毎年度3月31日)

(中心市街地区域)	令和3年度 (計画前年度)	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (最終年度)
人口	13,702人	13,361人	13,179人			
人口増減数	△216人	△341人	△182人			
自然増減数	△185人	△249人	△240人			
社会増減数	△31人	△92人	58人			
転入者数	654人	541人	648人			

(2) **地価の状況**

(単位：円/㎡)

	令和3年度 (計画前年度)	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (最終年度)
中心市街地 商業地域						
宮脇町吉田 1003-1外	90,000	87,700	86,800			
丸の内65-1	77,300	76,300	75,500			
守山町17-1外	57,100	56,500	56,200			
新横町1044- 1外	83,800	81,600	80,400			
駅南1-830-7	70,200	69,200	68,900			
中心市街地 住宅地域						
大町217-2 ※	26,700	26,300	26,000			
金屋町109-2	33,100	33,000	33,000			

※令和5年「袋町(旧大町)91外」から選定替え

出典：国土交通省地価公示・都道府県地価調査

**2. 令和5年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見**

認定中心市街地活性化基本計画に位置付けられた事業や計画については、関係者が連携を密にし、着実に進行していると評価している。これまで実施してきた事業の成果も現れ、中心市街地エリアにおいて統計開始以来初めての社会増となるなど明るい兆しも見えている。協議会としても、引き続き行政を始めとする関係者と連携・協力しながら、必要に応じた支援等を行っていききたい。

## II. 目標ごとのフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
多様な目的で人が行き交い、交流するまち	主要観光施設における観光入込客数	351,000 人 (R1)	375,500 人 (R8)	282,656 人 (R5)	C	-	①
	中心商店街・観光地周辺(6地点)における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値	14,425 人 (R1)	15,000 人 (R8)	12,845 人 (R5)	C	-	①
新たなチャレンジとライフスタイルを楽しむまち	中心市街地における居住人口の社会増減数	△50 人/年 (H29~R2)	±0 人/年 (R4~R8)	△17 人/年 (R4~R5)	B	-	①
	中心市街地・観光地周辺における新規開業件数	57 件 (H29~R2)	60 件 (R4~R8) 12 件/年	33 件 (R4~R5) 17 件/年	C	-	①

< 基準値からの改善状況 >

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 >

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

### 2. 目標達成見通しの理由

「観光入込客数」については、新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年を基準年としているが、現時点ではその基準値には達していない。しかし、アフターコロナでの国内外の観光需要の回復によって入込客数は増加傾向にあり、令和5年の実績は令和4年の実績を上回る結果となっている。令和6年3月には北陸新幹線の敦賀開業、その後の令和6年秋に北陸三県で実施される大型観光キャンペーン「北陸デスティネーションキャンペーン」の開催によるさらなる観光客の増加が見込まれるため、目標達成は可能であると見込まれる。

「歩行者・自転車通行量」については、令和4年度は御旅屋人マーケット等のイベント

により人通りが回復した時一方で、令和5年度は測定時に悪天候が重なったことにより、中心市街地への周遊が減少したことから、御旅屋通りを始めとした5地点は前年度比減となった。しかし、働き方・暮らし方がコロナ禍以前に戻りつつあり、通勤・通学をはじめ、外出等の公共交通機関利用の増加が進んだことから、高岡駅前の数値は大幅に改善し、中心市街地全体としては増となった。

また、中心商店街の中核施設である御旅屋セリオの利用者数については百貨店の撤退以降低調に推移しているが、TASUの開業や御旅屋人マーケットの波及効果により増加傾向となっており、目標達成は可能と見込まれる。

「居住人口の社会増減数」については、新たな分譲マンションの入居が始まった影響等で社会増に転じた。しかし、今計画期間全体では依然として社会減が続いており、計画に位置付けた事業を着実に実施し、目標達成を目指す。

具体的には中心市街地での住居の取得、リフォーム等を支援することで、中心市街地外への転居を抑制するとともに、市外からの転入増を図る。

「新規開業件数」については、令和5年度は13件の実績であり、目標としている年間12件の開業を上回り、目標達成は可能と見込まれる。

また、令和4年度から実施している、御旅屋人マーケットやTASUからの開業も着実に進んでおり、更に令和6年度からは新たに遊休不動産のリノベーションを後押しする事業を開始することとしている。引き続きこれらの事業を相乗的に連携・展開して中心市街地の賑わい創出につなげていく。

### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

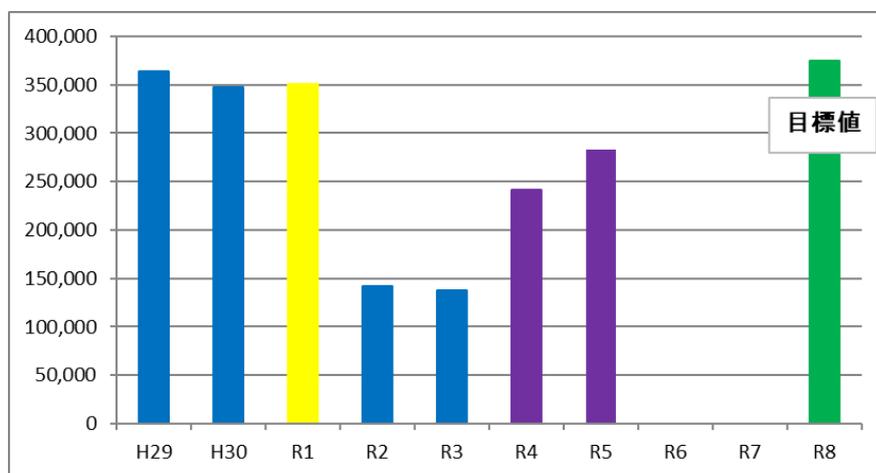
見通しの変化なし。

### 4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

#### (1) 「主要観光施設における観光入込客数」

※目標値設定の考え方認定基本計画 P.72～P.75 参照

#### ●調査結果と分析



年	(単位) 人
R1	351,000 (基準年値)
R4	241,687
R5	282,656
R6	
R7	
R8	375,500 (目標値)

■ 第3期認定後 ■ 基準年値 ■ 第4期認定後 ■ 目標値

※調査方法：施設毎の1～12月の入込数を集計

※調査月：2月

※調査主体：高岡市

※調査対象：瑞龍寺、高岡大仏、山町筋（菅野家・土蔵造りのまち資料館・御車山会館）  
金屋町（鋳物資料館）、高岡地場産業センター（令和3年度より計上）

	令和元年 (計画前年度)	令和4年 (1年目)	令和5年 (2年目)	令和6年 (3年目)	令和7年 (4年目)	令和8年 (5年目)
瑞龍寺	196,785	94,904	116,493			
高岡大仏	92,000	83,000	91,040			
菅野家	2,584	0	0			
土蔵造りのまち 資料館	4,018	2,545	2,503			
高岡御車山会館	49,098	31,461	37,132			
鋳物資料館	6,621	4,137	3,913			
高岡地域地場産 業センター	-	25,640	31,575			
合計	351,106	241,687	282,656			

### （参考指標）

	令和元年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
市内宿泊者数	308,723 人	214,246 人	224,853 人			
市内外国人 宿泊者数	11,394人	2,412人	6,248人			

### 〈分析内容〉

新型コロナウイルス感染症やそれに伴う大型イベント等の中止によって、令和元年から入込客数は大きく落ち込んでおり、イベント等が実施されるようになった令和5年においてもコロナ前の水準には達していない。一方でアフターコロナでの国内外の観光需要の回復によって利用客は増加傾向にある。

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

ア. 高岡地域地場産業センターの移転による増加

○高岡地域地場産業センター運営事業（（公財）高岡地域地場産業センター）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
実施主体	（公財）高岡地域地場産業センター
事業概要	昭和58年に設立した公益財団法人高岡地域地場産業センターは、令和2年10月に中心市街地にある御旅屋セリオへ移転し、まちな

	かから富山県西部地域の伝統産業の振興拠点施設として円滑な運営を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	(高岡地域地場産業センターの移転による増加) 事業目標値：+20,000人 最新値：+31,575人(R1 0、R5 31,575) 達成状況：達成済み
事業の今後について	敦賀開業による観光需要や鋳物制作体験による教育需要も取り込みながら、引き続き利用者の増加に努めていく。

#### イ. 北陸新幹線の敦賀開業による効果

##### ○呉西観光誘客推進事業（富山県西部地区観光協議会）

事業実施期間	平成29年度～令和7年度
実施主体	富山県西部地区観光協議会
事業概要	令和3年2月に改訂した「第2期とやま呉西圏域都市圏ビジョン」に基づき、圏域の多彩な観光資源（自然・文化・産業遺産等）の連携によるマーケティング・ブランディングにより、圏域の観光エリアのPR強化・充実に努め、観光誘客を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	(北陸新幹線の敦賀開業による効果) 事業目標値：+3,500人 令和6年3月に敦賀開業
事業の今後について	敦賀開業を契機とした本市への観光客誘致へとつなげるため、圏域内の観光PRの強化・充実に努める。

#### ウ. 賑わい集積開業等支援事業による波及効果

##### ○賑わい集積開業等支援事業（高岡市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
実施主体	高岡市
事業概要	商店街や観光地など指定区域において、空き店舗で新規開業する方等を対象に、店舗改装費や家賃等に対し支援 旧来の4つの開業支援制度を一本化し、効率的、効果的な制度運用を図る。 ・ 中心市街地賑わい創出開業等支援事業（中心市街地） ・ 観光地魅力アップ開業等支援事業（観光地周辺） ・ 空き店舗における開業等支援事業（周辺商店街） ・ 中心市街地における既存店舗リニューアル支援事業

国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和２年度～令和４年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（賑わい集積開業等支援事業による波及効果） 事業目標値：＋１,０００人 最新値：＋３００人 令和４年度～令和８年度で目標１０店舗開業のところ、令和５年度は観光地において３件の開業があった。
事業の今後について	引き続き制度の周知や関連団体との連携を行うことで開業支援の活用を図っていく。

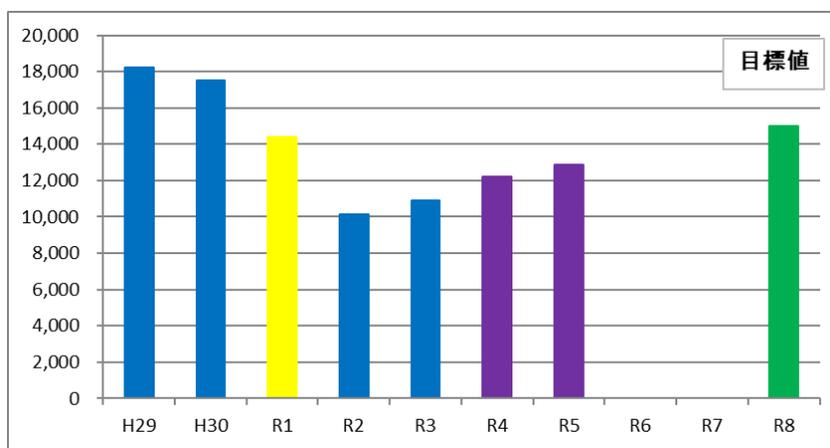
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業はおおむね順調に進捗しており、目標達成は可能と思われる。令和６年能登半島地震の影響による北陸地域の観光需要減の影響も懸念されるが、北陸新幹線の敦賀開業、その後の北陸デスティネーションキャンペーンも中心市街地の観光客増加に寄与すると見込まれる。

今後も引き続き呉西地域で連携した観光PRの強化を行うとともに、交通事業者と連携したアクセスの充実や、開業支援事業による魅力的な店舗の開業を促進することで、本市を訪れた観光客が中心市街地を回遊する仕掛けづくりを行っていく。

（２）中心商店街・観光地周辺（６地点）における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値

※目標値設定の考え方認定基本計画 P. 75～P. 81 参照



年	(単位) 人
R1	14,425 (基準年値)
R4	12,217
R5	12,845
R6	
R7	
R8	15,000 (目標値)

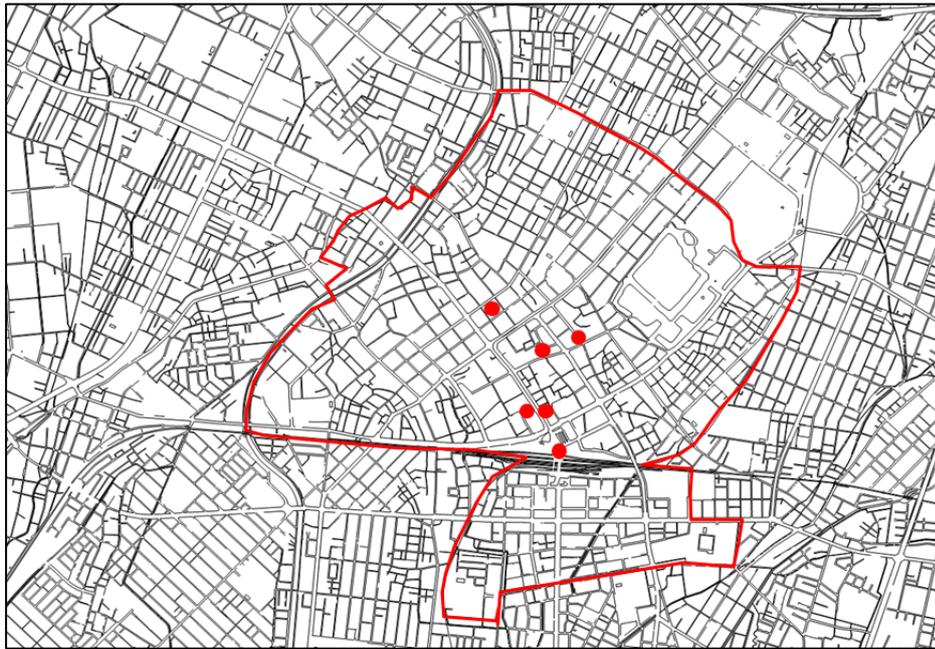
■ 第3期認定後 ■ 基準年値 ■ 第4期認定後 ■ 目標値

※調査方法： 平日・休日の歩行者・自転車通行量を計測

※調査月： 10月

※調査主体： 高岡市

※調査対象： 中心商店街・観光地周辺6地点（高岡駅前（人工デッキ）、末広町（西）、末広町（東）、御旅屋通り、大仏前、山町筋（木舟町））



		令和元年度 (計画前年度)	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
高岡駅前	平日	10,146	5,334	9,729			
	休日	7,623	5,620	7,139			
未広町 (東)	平日	761	918	746			
	休日	796	862	656			
未広町 (西)	平日	1,197	1,238	790			
	休日	1,186	1,024	714			
御旅屋通り	平日	891	1,002	868			
	休日	1,131	3,108	1,368			
大仏前	平日	1,542	1,676	794			
	休日	2,685	2,663	2,248			
山町筋 (木舟町)	平日	404	452	302			
	休日	487	536	335			
6地点 合計	平日	14,941	10,620	13,229			
	休日	13,908	13,813	12,460			
平均		14,425	12,217	12,845			

**(参考指標) 御旅屋セリ才来館者数の平均 (人/日)**

令和元年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1,157	637	708			

## 〈分析内容〉

令和元年度の百貨店撤退の影響を受け、それ以降は百貨店直近の御旅屋通り地点の通行量が大きく減少していることに加えて、令和4年度は御旅屋人マーケット等のイベントにより人通りが回復した一方で、令和5年度は測定時に悪天候が重なったことにより、中心市街地への周遊が減少したことから、御旅屋通りを始めとした5地点は前年度比減となった。しかし、働き方・暮らし方がコロナ禍以前に戻りつつあり、通勤・通学をはじめ、外出等の公共交通機関の利用が増加したことから、高岡駅前の数値は大幅に改善し、中心市街地全体としては増となった。

## ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

### ア. 高岡駅前東地区整備事業の居住者の周遊

#### ○高岡駅前東地区整備事業（高岡市、高岡駅前東地区協議会、権利関係者）

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【済】
実施主体	高岡市、高岡駅前東地区まちづくり協議会、権利関係者
事業概要	地権者と共に実現化に向けた計画の策定や民間事業の開発支援（業務施設、マンション等）、周辺環境の整備（道路、広場等）を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）（国土交通省）（令和2年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（高岡駅前東地区整備事業の居住者の周遊による増加） 事業目標値：+150人/日 最新値：+120人/日 令和5年11月に新たな分譲マンションが完成し、居住者の増及びそれに伴う周遊の増が進んでいる。
事業の今後について	分譲マンションの整備が完了したため、今後はマンション入居促進、居住者によるまちなかへの流動が図られるよう取り組んでいく。

### イ. セリオタウン推進事業による増加

#### ○オタヤ子ども広場運営事業（オタヤ子ども広場実行委員会）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
実施主体	オタヤ子ども広場実行委員会
事業概要	御旅屋セリオ内にある子ども広場の運営を行い、様々な企画・イベントを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	（セリオタウン推進事業による増加） 事業目標値：+200人/日 最新値：△449人/日（参考指標・御旅屋セリオ来館者数平均） （R1:1,157人 R5:708人）

	達成状況：未達成 令和元年度の百貨店撤退前の水準には達していないが、回復基調にある。
事業の今後について	子育て世代にとって魅力的なイベントの実施などにより、更なる施設利用者の増を目指す。

#### ウ. リノベーションまちづくり事業による増加

##### ○リノベーションまちづくり事業（高岡市、中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
実施主体	高岡市、中心市街地活性化協議会
事業概要	「御旅屋人マーケット」を始めとした、新しい使い方による「街のコンテンツ」を生み出すことにより、来街機会と賑わいの創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和 2 年度～令和 4 年度） 中心市街地活性化ソフト事業（令和 5 年度～令和 8 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（リノベーションまちづくり事業による増加） 事業目標値：+150 人／日 最新値：+0 人／日 令和 6 年度には御旅屋人マーケットの出店者による中心市街地エリアでの開業が予定されており、顧客の増を見込む。
事業の今後について	商店街での定期的なマーケット開催により、中心商店街での回遊の促進、さらにはマーケットの出展者や客がアーケード内での実店舗とその顧客となるよう誘導する。更に令和 6 年度からは新たに遊休不動産のリノベーションを後押しする事業を開始することとしている。

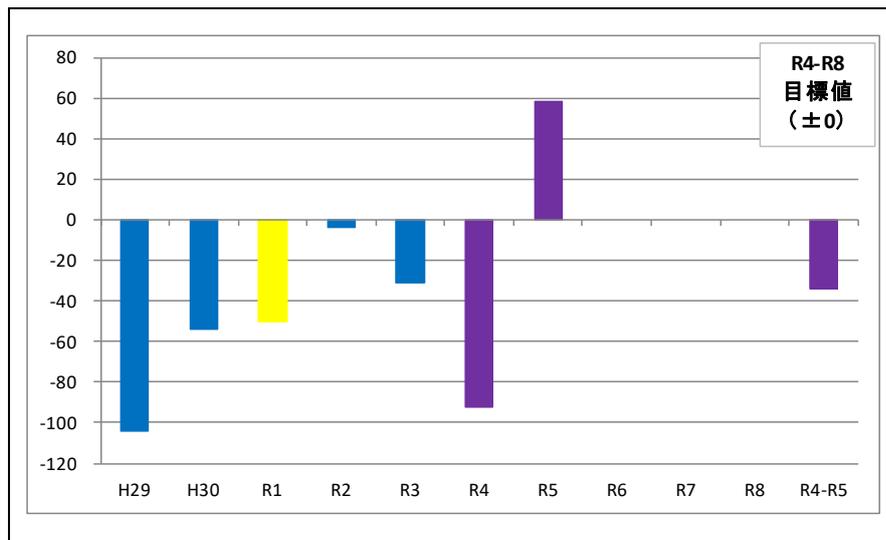
#### ●目標達成の見通し及び今後の対策

働き方・暮らし方がコロナ禍以前に戻り、通勤・通学をはじめ、外出等の公共交通機関利用の増加が進んだことから、高岡駅前の数値は大幅に改善している。今後は高岡駅を利用する人が中心市街地を回遊する仕掛けづくりを行うことが重要である。

御旅屋セリオの利用者数については百貨店の撤退以降低調に推移しているが、御旅屋人マーケットの開催やTASUのオープン等の効果もあり、入館者数は改善傾向にある。

### (3) 中心市街地における居住人口の社会増減数

※目標値設定の考え方認定基本計画 P. 81～P. 84 参照



年	(単位) 人
H29- R2	△50/年 (基準年値)
R4	△92
R5	58
R6	
R7	
R8	
R4- R8	±0 (目標値)

■ 第3期認定後 ■ 基準年値 ■ 第4期認定後 ■ 目標値

※調査方法： 住民基本台帳からの集計

※調査月： 3月31日

※調査主体： 高岡市

※調査対象： 認定区域内に居住する人

#### (参考指標)

	令和元年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
市内全体の 転入者数	4,685人	4,894人	4,786人			
市内全体の 転出者数	5,149人	4,815人	4,899人			
市内全体の 社会増減	▲464人	79人	▲113			
エリア内の 定塚地区人口	3,930人	3,964人	3,933人			
定塚地区の社 会増減数	113人	9人	41人			

#### 〈分析内容〉

令和5年11月に高岡駅前東地区において88戸の分譲マンションが完成し、新規入居が増加した影響や、区域外への転出が例年より少なかったこともあり、マンションが立地している定塚地区を中心に社会増となり、中心市街地全体としても社会増に転じた。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

ア. たかおか暮らし支援事業による増加

○たかおか暮らし支援事業（高岡市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
実施主体	高岡市
事業概要	高岡市が指定した「まちなか区域」及び「居住誘導区域（UIJ 世帯または子育て世帯）」において、家屋の新築や、新築（建売）・中古住宅の取得、新築・中古分譲マンションの取得、隣接土地の取得、隣接土地上の空き家等の除却、耐震改修に伴うリフォーム、三世帯同居のためのリフォーム、エコリフォームを行う者に対し、費用の一部を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（地域住宅政策推進事業））（国土交通省）（令和3年度～令和7年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（たかおか暮らし支援事業による増加） 事業目標値：＋75人 最新値：＋66人（R4～R5:37件から算出） 達成状況：未達成 令和4～5年度で37件の実績があり、まちなか居住人口の増に寄与している。
事業の今後について	支援制度の周知に努めることで「まちなか区域」への居住支援を継続し、居住人口の維持・増加へと繋げていく。

イ. 高岡駅前東地区整備事業による増加

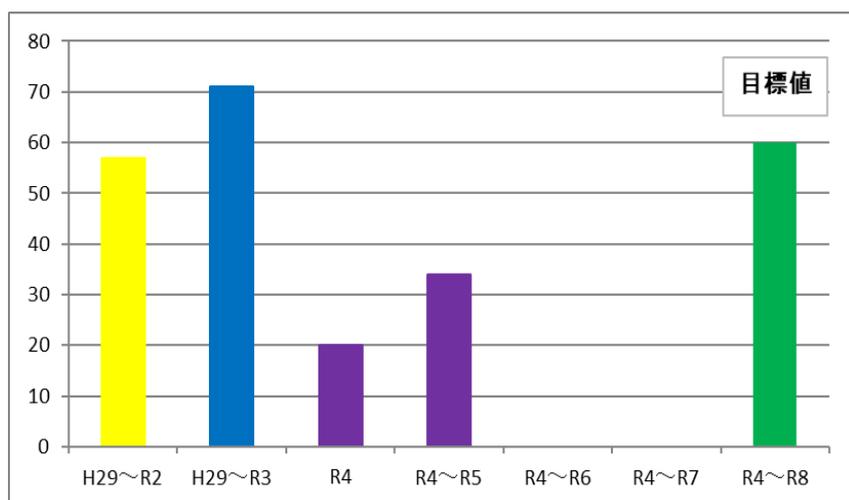
○高岡駅前東地区整備事業【再掲】（高岡市、高岡駅前東地区協議会、権利関係者）

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【済】
実施主体	高岡市、高岡駅前東地区まちづくり協議会、権利関係者
事業概要	地権者と共に実現化に向けた計画の策定や民間事業の開発支援（業務施設、マンション等）、周辺環境の整備（道路、広場等）を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）（国土交通省）（令和2年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（高岡駅前東地区整備事業による増加） 事業目標値：＋158人／日 最新値：＋126人／日 令和5年11月に新たな分譲マンションが完成し、居住者の増及びそれに伴う周遊の増が進んでいる。
事業の今後について	分譲マンションの整備が完了したため、今後はマンション入居促進、居住者によるまちなかへの流動が図られるよう取り組んでいく。

## ●目標達成の見通し及び今後の対策

令和5年度単年度では、統計開始（H28）以降初めて社会増となったが、第4期計画中の延べ人数では依然として社会減となっている。引き続き中心市街地での住居の取得、リフォーム等を支援することで、中心市街地外への転居を抑制するとともに、市外からの転入増を図るなど、計画に位置付けた事業を着実に実施し、目標達成を目指す。

### （4）中心市街地・観光地周辺における新規開業件数 ※目標値設定の考え方認定基本計画 P. 84～P. 87 参照



年	(単位) 件
H29- R2	57 (基準年値)
R4	20
R4- R5	33
R4- R6	
R4- R7	
R4- R8	60 (目標値)

■ 第3期認定後 ■ 基準年値 ■ 第4期認定後 ■ 目標値

※調査方法： 職員による現地調査

※調査月： 4月～翌年3月

※調査主体： 高岡市

※調査対象： 認定区域内における新規開業店舗

(参考指標)

	令和元年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
店舗数	99件	100件	98件			
空き店舗件数	28件	23件	25件			
うち利用可能な 空き店舗件数	14件	10件	7件			

### 〈分析内容〉

令和5年度における新規開業件数は13件であり、目標としている年間12件ペースを上回っている。コロナ禍からの回復で飲食・観光関連の業種を中心に新規開業が増えたことや、TASUを始めとした関係機関との連携の効果が現れている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

ア. 開業支援事業による効果

○賑わい集積開業等支援事業【再掲】（高岡市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
実施主体	高岡市
事業概要	商店街や観光地など指定区域において、空き店舗で新規開業する方等を対象に、店舗改装費や家賃等に対し支援 旧来の4つの開業支援制度を一本化し、効率的、効果的な制度運用を図る。 ・ 中心市街地賑わい創出開業等支援事業（中心市街地） ・ 観光地魅力アップ開業等支援事業（観光地周辺） ・ 空き店舗における開業等支援事業（周辺商店街） ・ 中心市街地における既存店舗リニューアル支援事業
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和2年度～令和4年度） 中心市街地活性化ソフト事業（令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（開業支援事業による効果） 事業目標値：55件 最新値：33件（R4:20件、R5:13件） 達成状況：未達成 単年度当たり11件の目標を上回る数値となっている。
事業の今後について	引き続き制度の周知や関連団体との連携を行うことで開業支援の活用を図っていく。

イ. リノベーションまちづくり事業による波及効果

○リノベーションまちづくり事業【再掲】（高岡市、中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成29年度～【実施中】
実施主体	高岡市、中心市街地活性化協議会
事業概要	「御旅屋人マーケット」を始めとした、新しい使い方による「街のコンテンツ」を生み出すことにより、来街機会と賑わいの創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和2年度～令和4年度） 中心市街地活性化ソフト事業（令和5年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（リノベーションまちづくり事業による波及効果） 事業目標値：+5件 最新値：+0件 令和6年度には御旅屋人マーケットの出店者による中心市街地エリアでの開業が予定されており、顧客の増を見込む。
事業の今後について	商店街での定期的なマーケット開催により、中心商店街での回遊の促進、さらにはマーケットの出店者や客がアーケード内での実店舗とその顧客となるよう誘導する。更に令和6年度からは新たに遊休

	不動産のリノベーションを後押しする事業を開始することとしている。
--	----------------------------------

**●目標達成の見通し及び今後の対策**

主要事業は概ね順調に進捗しており、目標達成は可能と見込まれる。

令和4年度に開設したTASUの相談者が中心市街地で開業し、その後も引き続き伴走支援を行っている。また、令和6年度には、御旅屋人マーケットに出店した店舗が中心市街地エリアで開業する予定であり、新たに実施した事業の成果が着実に始めている。今後もこれらの事業を相乗的に連携・展開して、中心市街地の賑わい創出につなげていく。